

# S90 XS/S70 XS V1.06 Updater Release Notes

---

## 目次

- ご注意
- アップデートの内容
- アップデート対象モデル
- バージョンの確認方法
- アップデート手順

## ご注意

- 本アップデートプログラムは、日本国内に在住のお客様向けにご提供するものです。
- アップデートは、お客様ご自身の責任において行ってください。
- アップデート作業中に電源を切ったり USB 記憶デバイスを抜いた場合、本体が動作しなくなることがあります。再度アップデート作業を実行しても本体が動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

## アップデートの内容

V1.03 → V1.06

- マスターモードで、コモンパラメーターの「Mode」を「performance」に、「Zone Switch」を「on」にし、鍵盤を弾いたとき、内部音源に対してパフォーマンスパラメーターの「Split Sw」の設定が有効になるように修正しました。
- パフォーマンスモードで、パートスイッチがオフのパートを選んで、[LAYER]ボタン、[SPLIT]ボタン、[DRUM ASSIGN]ボタンのいずれかを押しても、パートスイッチはオフのままになるように変更しました。
- 本体の電子部品がより安定して動作するよう修正しました。低温環境下などで本体が起動しない場合は、V1.06 へのアップデートにより症状が改善する可能性があります。
- エフェクトタイプ「Multi Band Comp」の「High Threshold」の設定値が、ボイス、パフォーマンス、エフェクトタイプ、またはエフェクトプリセットを変更しても、適切に設定されない問題を修正しました。
- ボイスエディットにおいて、コモン LFO の「Dest」に「insA1」～「insA16」、「insB1」～「insB16」のいずれかを設定した場合に、コモン LFO のフェードイン、フェードアウトが正しく動作しない場合がある問題を修正しました。
- エフェクトタイプ「Rotary Speaker」の「Rotor/Horn Balance」の設定値を、L63>H～L=H～L<H63 から R63>H～R=H～R<H63 に修正しました。
- ボイスの元素パラメーターの「Velocity Limit」を Low=65, High=64 のように Low の設定を High の設定よりも 1 だけ大きくした状態で、ベロシティが High の設定値と同じ(この場合は 64)ノートオンを受信するとフリーズする問題を修正しました。

- エフェクトタイプ「Tempo Cross Delay」、「Tempo Delay Mono」、「Tempo Delay Stereo」において、テンポディレイパラメーターとアルペジオテンポパラメーターの設定を以下のとおり組み合わせると、ディレイがアルペジオとテンポ同期しなくなる問題を修正しました。
  - テンポディレイ = 4th × 6、アルペジオテンポ = 15 以下
  - テンポディレイ = 4th × 5、アルペジオテンポ = 12 以下
  - テンポディレイ = 4th × 4、アルペジオテンポ = 10 以下
  - テンポディレイ = 2nd、アルペジオテンポ = 7 以下
  - テンポディレイ = Whole/3、アルペジオテンポ = 6 以下
  - テンポディレイ = 2nd、アルペジオテンポ = 5 以下
- コンピューターと本体を USB 接続したときに、コンピューターが本体を認識しないことがある問題を修正しました。
- マルチモードのミキシングボイスエディットで、編集したボイスを Initialized Voice(ファクトリーセット直後の USB4 バンクのボイスなど)を保存先に指定してストアすると、ストアしたボイスの Part EQ やエフェクトパラメーターの値が変更されてしまう問題を修正しました。
- シーケンスプレイモードで、MIDI ソングに合わせて複数のアルペジオを同時に演奏させたとき、アルペジオエディットのシンククオンタイズバリューが効果しない場合がある問題を修正しました。
- マルチモードで、ベーシックレシーブチャンネル以外のチャンネルでマルチチェンジメッセージ(Bx 00 3F, Bx 20 44, Cx nn)を受信したとき、パートの音色が変わってしまう問題を修正しました。
- マルチモードで、A/D パートのインサーションエフェクトスイッチがオンのときに、Initialize ジョブを、「All」のチェックはオフ、その他のチェックは全てオンの状態で実行しても、パート8のインサーションエフェクトスイッチがオンにならない問題を修正しました。
- S90 XS/S70 XS エディターで、MULTI LIBRARY から編集中のマルチと同じ番号のマルチを再度選択して[OK]ボタンを押しても編集前の設定に戻らない問題を修正しました。
- マスターモードで「Mode」を「voice」または「performance」にし、さらに「Zone Switch」が「on」に設定されているプログラムに切り替えたとき、ゾーンエディットのプリセット画面の「Volume」/「Pan」の設定が内部音源に効果しない問題を修正しました。
- USB MIDI ポート 4 またはポート 5 で受信したチャンネルメッセージが内部音源に効果してしまう問題を修正しました。
- パフォーマンスモードからユーティリティモードに入ったとき、Utility Voice Master EQ 画面のパラメーターの変更が内部音源に効果してしまう問題を修正しました。
- その他軽微な問題を修正しました。

#### V1.02 → V1.03

- 特定の音色でキーオフ発音が数秒間、音源チャンネルを開放しない問題を修正しました。
- ボイスモードで、パフォーマンススクリエーターの「スプリット」画面を[EXIT]あるいは[VOICE]でキャンセルしたあとパフォーマンスモードに入り、パフォーマンススクリエーター機能を再度使用したときに、パートパラメーターを変更すると、本体がフリーズすることがある問題を修正しました。

## アップデート対象モデル

S90 XS/S70 XS V1.06 未満

## バージョンの確認方法

1. [UTILITY]ボタンを押し、ユーティリティーモードに入ります。
2. [UTILITY]ボタンと[↑(カーソル上)]ボタンを同時に押します。

以下のような画面が表示されます。



" Firmware Version \*.\*.\* "で表されている部分が本体のバージョンです。

※"1.01.1"や"1.02.4"などと表示されますが、"1.01"や"1.02"でバージョンを確認します。

※[EXIT]ボタンを押すことで、バージョン確認画面から抜けることができます。

## アップデート手順

### 【ご用意いただくもの】

S90 XS/S70 XS 本体でフォーマットした 256MB 以上の USB 記憶デバイス

※S90 XS/S70 XS での動作確認済み USB 記憶デバイスは下記の URL をご参照ください。

[http://www.yamahasyth.com/jp/support/hardware\\_compatibility/s9070\\_xs/index.html](http://www.yamahasyth.com/jp/support/hardware_compatibility/s9070_xs/index.html)

### 【手順】

1. ダウンロード後、解凍したファイルのうち、[8H03OS\_.PGM]ファイルを S90 XS/S70 XS 本体でフォーマットした USB 記憶デバイスにコピーしてください。

※USB 記憶デバイスにはこのファイル以外何も入れないようにしてください。



2. S90 XS/S70 XS 本体の電源を切ります。

- 手順1でコピーしたUSB記憶デバイスをUSB TO DEVICE端子に装着して、[UTILITY]ボタンと[↑(カーソル上)]ボタンを同時に押しながら、S90 XS/S70 XS本体の電源を入れます。

※画面に"Searching for the firmware updater..."の文字が表示されたらボタンを離してください。

- 画面上に、"S90/S70 XS Updater ver \*.\*.\*" と表示され、アップデートが開始します。アップデート中は、進行状況が".....%" のように表示されます。"Finish. Please turn off." というメッセージが表示されたら、アップデート完了です。S90 XS/S70 XS本体の電源を入れなおしてください。

※所要時間は約3分です。この間は絶対に本体電源を切らないでください。また、USB記憶デバイスを抜かないでください。万が一アップデート作業中に電源ケーブルが抜けるなど作業に失敗した場合、本体が動作しなくなる場合がございます。再度、はじめからアップデート作業を実行しても本体が動作しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

- 電源再投入後、[UTILITY]ボタンを押して、ユーティリティモードに入り、[UTILITY]ボタンとカーソル[△]ボタンを同時に押してアップデートされたバージョンを確認してください。

以上でアップデートは完了です。